

環境に優しい心を育てよう。泗水西小学校環境ISO

もりもり ～地球守森大作戦！～

取組のポイント

- ①無理なく継続的に、環境教育に取り組む。
- ②子どもたち主体で全学年取り組む。
- ③職員も取り組む。



はじめに

本校は、全児童83名の小規模学校である菊池市泗水町の西部に位置しており、学校周囲は田畑や緑が多く、学校前には合志川が流れている。また、校庭には、「友情の森」があり、豊かな自然環境の中で子どもたちは過ごしている。この「友情の森」は、九州各地の県木を贈呈してもらった「友情」の証である。また、暑い夏など運動場で汗をかいたあと、木々が生き茂っている森で休んでもらいたいという願いでつくられたものである。

本校は、平成14・15年度に熊本県教育委員会から環境教育研究の指定を受け、その後も研究を継続的に推進している。環境を守るために、さまざまな学習や日常的な取り組みを実践してきたが、その一つとして始まったのが学校版環境ISOの取組である。

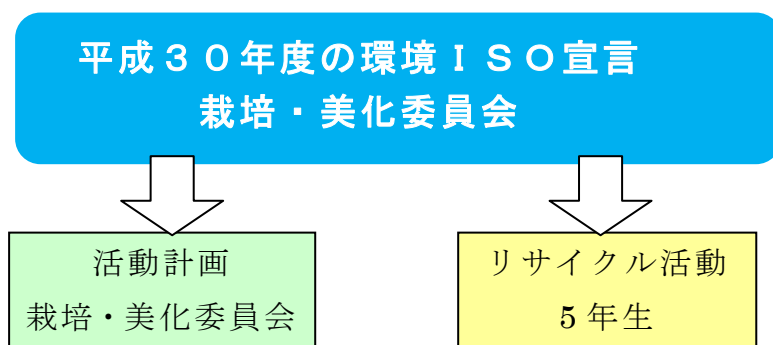
1 本校の学校版環境ISOの概要

(1)本校の学校版環境ISOの基本的な考え方

学校版環境ISOは、具体的に数値をクリアすることだけが目的ではない。学校版環境ISOを通して、子どもたちに「環境に優しい心」を育てることが目的であり、継続して取り組むことにより、子どもたちに「環境に優しい心が育つ」と考えている。だからこそ、無理をせず、長続きできる取組にしていきたい。

(2)宣言項目と組織図

本校の環境ISOは、主に ①活動計画(美化・栽培委員会) ②リサイクル活動(5年生)の2つの活動に取り組んでいる。本年度の宣言項目と役割分担は次の図の通りである。



2 行動(具体的な取組)

(1) ISO宣言の掲示

今年も、栽培・美化委員会を中心に児童 ISO 宣言の項目を作成した。そして、委員会を中心に集会で ISO 宣言の説明を行い全校で取り組むことを宣言した。また、職員 ISO 宣言も作り、共通理解して取り組んでいる。

児童用のISO宣言

ISO宣言

- 1、みずをたいせつにつかいます。**
 - ・じゃぐちをしっかりとしめます。
 - ・みずがでていたら、きついたりひきがしめます。
 - ・みずをむだにつかわないようにします。
- 2、でんきをたいせつにつかいます。**
 - ・つかわないコンセントはぬきます。
 - ・トイレやきょうしつで、だれもいないときは、でんきをけします。
- 3、ものをたいせつにつかいます。**
 - ・えんぴつやけしゴムなど、ものをたいせつにつかいます。
 - ・えんぴつやけしゴムは、さいごまでつかいます。
- 4、リサイクルをします。**
 - ・かみのリサイクルにきょうりよくします。
 - ・きゅうにゅうパックのリサイクルにきょうりよくします。
 - ・アルミかんのリサイクルにきょうりよくします。

職員用のISO宣言

水を大切に使います！

- ・手洗いや歯磨きの水は節約します。
- 歯磨きはコップ1杯

目標 5%減！

電気を大切に使います！

- ・不要な照明は消します。
- ・OA器具のスイッチをこまめに切ります。
- ・冷暖房の温度を守ります。
- 夏は30℃以上、冬は10℃以下

物を大切に使います！

- ・消耗品・備品の無駄をおさえます。

リサイクルをします！

- ・両面印刷に努めます。
- ・印刷物は、必要最低限を努めて印刷します。

(2) ボランティア活動

業間に必要に応じてボランティア活動の時間とし、学校の美化に努めている。学校の花壇に花を植えたり、「一人一鉢」運動をしたり、春や夏には校庭の草抜き、秋には落ち葉掃き、冬には溝の掃除など校内環境の向上に全校児童・職員で取り組んでいる。学校には、たくさんの木々があり、その落ち葉を収集して堆積させ、腐葉土をつくっている。また、地域の



6年生による落ち葉掃き

酪農家よりいただいた牛糞も使って土づくりをし、その土で花を植え育てている。

(3) 省エネの呼びかけ

昨年は水の使用量が多かったので、今年は栽培・美化委員会で、「そうじに使う水を減らそう」というポスターを作成した。掲示板や廊下など児童の目に付くところに貼って呼びかけている。



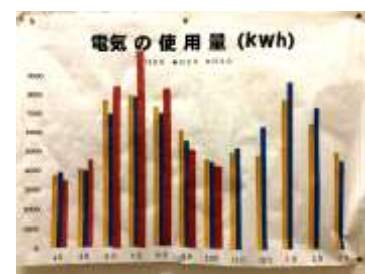
(4) ごみクリーンデー

教室のごみの中から、古紙は別に集めることで、ごみの削減に努めた。毎週木曜日のごみクリーンデー（ごみの収集日）で、ごみのごみ袋の半分以下だったクラスにエコシールを表に貼って意識づけを行っている。学期毎に一番ごみの量が少なかったクラスには、賞状を配るようになっている。



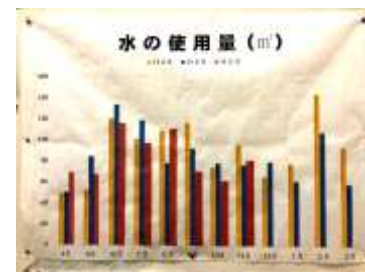
(5) 水道と電気使用量のグラフづくり

栽培・美化委員会で、本年度の水道と電気の使用量をグラフ化して掲示板に貼っている。委員会での発表を行い、啓発に努める。（2月予定）



(6) 地球もりもり銀行

「地球もりもり銀行」は、毎年5年生が担当しており、今年で17年目を迎える。リサイクルで得たお金で環境に関する本等を購入する予定である。「地球もりもり銀行」は、毎週金曜日の朝に取り組んでいる。アルミ缶、ペットボトルのキャップを収集している。



前日には、5年生が全校児童に「地球もりもり銀行」があることを知らせ、アルミ缶やペットボトルキャップが家にある人は持ってきてもらうように呼びかけている。

金曜日の午前8時頃になると「今から、『地球もりもり銀行』を始めます。」と5年生が放送をする。放送を聞いた子ども達は、アルミ缶等を持ってホールに並ぶ。持ってきた物を銀行の受付の児童に渡し、持ってきた物と量を「地球もりもり銀行通帳」に記録してもらう。5年生の子ども達は、仕事を分担しながらアルミ缶やペットボトルキャップ等を収集・記録し、アルミ缶はみんなで協力して潰していく。



その日に協力してくれた児童を、給食中に校内放送で紹介している。校区内の温泉やお店にも、アルミ缶収集箱を設置させていただいている。地域の方や職員も協力しているため、結構な量が集まる。子ども達が収集したアルミ缶は、ある程度の量が貯まったら、業者に引き取ってもらう。



地球もりもり銀行

3 成果と課題

- 例年取り組んできたことを継続して活動することができた。
 - リサイクル活動は毎週あるので、児童も活動が習慣化しつつある。
 - 今年は6年生が率先して朝から落ち葉掃きに取り組み、その姿が他学年の美化意識にもつながった。
 - ごみクリーンデーでごみが半分以下だった学級にシールを張ることで、ごみ削減の意識を高めることができた。
- △掃除用具の点検は委員会 yearly 数回程度の実施であり、定期的な点検活動まではできていない。
- △今年は節水に力を入れて取り組んだ。昨年と比較すると、水の使用量は減ってきている。しかし、8月の水の使用量が昨年と比べて数値が高かった。また、今年は電気の使用量が多かったので、教室の節電を呼びかけていくとともに、暖房や冷房の温度や使い方についても学校全体で考えていく必要がある。